

令和7年松本市議会6月定例会
市長提案説明

[7.6.9(月) 13:30]

本日、令和7年松本市議会6月定例会を招集しましたところ、議員の皆様にご出席をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。

議案の提案理由の説明に先立ち、所信を述べさせていただきます。

島立地区の元地域づくりセンター長が、在職中に地区団体の現金を着服していたことが発覚し、先月末に市議会経済文教委員協議会に報告した上で、記者会見や町会連合会を通じて、市民の皆さんや町会関係者の皆様にお詫びを申し上げます。松本市役所に対する信頼を大きく損なう事態が起きたことに対しまして、重ねてお詫びを申し上げます。

再発防止の徹底を図るため、コンプライアンス研修や倫理研修の内容の見直し、会計処理手順の再徹底などの対策を速やかに講じ、職員一丸となって信頼の回復に全力を尽くしてまいります。

一方、先月2日の議員協議会でご協議いただいた、松本マラソンの不正な会計処理に関しましては、市議会の集約を踏まえ、先週末に第三者による検証委員会の初会合を開催しました。今後、関係者への聞き取りを行うなどして事実関係の検証や原因の分析を進め、来月末を目途に報告をいただくことになっています。

中心市街地の再設計・再活性について申し上げます。

3年ごとに発表される長野県の市町村別商圏人口で、昨年度初めて松本市が長野市を上回って県内で首位になりました。こうした上昇傾向に大型商業施設の閉店が影を落とさないよう、新たなまちの姿を公民連携でスピード感を持って描き直すことが、極めて重要な課題です。

今年3月に「松本市中心市街地再設計検討会議」から出された提言の具現化に当たっては、松本駅から松本城までを「えきしろ空間」と名付け、松本駅周辺を対象とした「えきまえエリアビジョン」の策定に取り組んでまいります。

このエリアビジョンによって、民間開発に対する基本的な方針、道路や公園といったパブリックスペースを再設計する方針を明確にしていきます。

こうした作業と並行して、引き続き市民の皆さんから新たなまちに対する意見やアイデアを伺うため、来月12日に中心市街地の再設計をテーマとした『多事争論会』を開催します。今回は、まちの現状を

肌で感じていただくため、議論の前に“えきまえ”まち歩きを行う予定で、大勢の皆さんの参加をお待ちしています。

松本市の中心市街地の再活性に欠かせないのは、松本駅周辺の交通ターミナル機能の強化です。これまでJR東日本・アルピコ交通・松本市の三者で協議を重ね、鉄道とバスのシームレスな乗換えを目指す取組みの第一弾として、昨年3月には路線バスのりばの大半を松本駅お城口広場に集約しています。

今後の協議では、交通の乗継拠点にとどまらない、駅とまち全体をつなぐ魅力ある“えきまえ”エリアの整備を目指し、JRやアルピコと連携してターミナル機能の強化と複合型施設の整備を一体的に進めてまいります。

松本市の水道は、大正12年・1923年の供給開始以来、およそ1世紀にわたり、「安全で、おいしい水」を提供してまいりました。現在、市内の水道普及率は99.6パーセントに達し、言うまでもなく市民の生活に必要な不可欠なインフラとなっています。

しかし、近年、水道事業を取り巻く環境は厳しさを増しています。人口の減少や節水意識の高まりが水需要の減少と料金の減収を招いている一方で、老朽化に伴う施設の更新や大規模災害に備えた耐震化を進める必要に迫られています。

昨年6月、「安全でおいしい水の供給」「強靱な水道施設の構築」「安定した事業経営の持続」の3つを基本目標に掲げた『第2期松本市水道ビジョン』の実現に向けて、将来にわたる健全な財政運営に必要な料金水準と体系について、上下水道事業経営審議会に諮問いたしました。今年2月に行われた答申は、来年4月1日から平均20.11パーセントの料金の引上げが妥当であるとする内容で、答申に沿った水道料金の改定に必要な条例改正案を今議会に提出しています。

合わせて、ペーパーレス化による経費の削減を進めるため、口座振替利用者が納入通知書を必要としないWEB登録を行えば、その分の水道料金を割り引く制度を導入するための経費を、補正予算に計上しています。

先月22日から25日にかけてオーストラリアのシドニーを訪れ、松本市・長野市・山ノ内町合同のトップセールスを行ってまいりました。

オーストラリアは、人口規模こそ日本の5分の1程度ですが、移民を積極的に受け入れることで人口が増え続け、1人当たりの平均給与

額は日本の2倍以上で、今後も順調な経済成長が見込まれています。長期休暇を存分に利用している旅行の消費額も世界トップクラスで、今年の訪日者数は100万人を超えると予測されています。

今回の訪問では、「JAPOW」と呼ばれる日本のパウダースノーの人气が不動のものであることを実感するとともに、平均2週間とされる滞在期間中にスキー以外のレジャーや文化活動を楽しみたいという需要が広がりつつあることを確認できました。

松本市においても、昨年度、オーストラリア人の宿泊者数は、延べ2万2千人を数え、タイ・台湾に次いで3番目に多くなっています。

「JAPOW」を有する長野県北部の自治体とも広域の連携を深め、伝統文化や現代芸術、食と酒に至るまで、松本の冬を楽しめる多彩な観光コンテンツを積極的にPRし、オーストラリアのみならず、世界からの誘客を図ってまいります。

次に、オーストリア・ザルツブルクとの交流について申し上げます。

先月26日、私と阿部議長が大阪・関西万博のオーストリア館に招かれ、ザルツブルク州のシュテファン・シュネル副知事、ザルツブルク音楽祭のクリスティーナ・ハマー総裁と会談を行いました。シュネル副知事とは「音楽とアルプス」という共通の価値観を有する2つの都市が交流する意義について確認し、ハマー総裁から7月に開かれるザルツブルク音楽祭オープニングセレモニーへの招待を受けました。

これに先立って松本で行われた、ザルツブルク合唱団の公演やモーツァルトが愛用したヴァイオリンの特別展示と合わせ、民間レベルで交流の糸口を模索されてきた方々のご尽力に感謝を申し上げます。

小澤征爾永世総監督の生誕90年に当たる今年、松本とザルツブルク、『2つの楽都』が新たに連携と協力を深める第一歩となることを願い、モーツァルト生誕の地を訪れて意見を交わしていきたいと考えています。

それでは、ただいま上程された議案について説明申し上げます。

提案した議案は、条例9件、予算2件、契約3件、道路1件の、合計15件であります。

はじめに、条例については、先程申し上げました水道料金の改定に伴う「松本市水道事業給水条例」の改正のほか、国のシステム標準化に伴って、市税に係る証明書の発行手数料を見直すもの、エコトピア山田の廃止に伴うものなど、条例改正9件を提出しています。

次に、予算としては、令和7年度一般会計補正予算1件、公営企業会計補正予算1件を提出しています。今回の補正予算は、当初予算編成後に生じた事由により、速やかな取組みが必要な政策的経費、国や県の補助事業に伴う経費を中心に、編成を行いました。

主な内容について申し上げます。

一般会計については、中心市街地の再設計・再活性の具現化に向けて、スピード感を持って取り組むための経費を計上しています。

具体的には、土木費のうち、「えきしろ空間活性事業費」では、民間開発やパブリックスペースの再設計に対する方針等を明確化するビジョンの策定に係る経費などを、「松本駅周辺交通ターミナル機能強化事業費」では、魅力ある駅前広場空間に向けた構想を策定するための債務負担行為などを、「景観計画推進事業費」では、松本市景観計画の改定に合わせ、松本駅お城口周辺の空間利活用イメージの共有に向けた「デザインコード」を策定するための債務負担行為を、それぞれ新規に計上し、庁内の関係部局が一体となって取組みを推進してまいります。

また、松本マラソンについて、2023大会及び2024大会における赤字分を松本マラソン実行委員会に支払うための負担金4,381万円の追加と、2025大会を中止することに伴う1億574万円の減額、合わせて6,193万円の減額を計上しています。

このほか、オーストリア・ザルツブルク訪問のための経費、老朽化した奈川地区の高ソメキャンプ場の再整備に当たり、管理棟とトイレ棟の建替えに向けた実施設計等のための経費、舗装長寿命化及び空港関連の道路整備等の事業進捗を図るための経費をそれぞれ計上しています。

次に、公営企業会計については、水道事業会計において、水道料金の改定と水道料金割引制度の導入に当たり、料金システムを改修するための経費を計上しています。

以上、一般会計は3億610万円の追加で、補正後の予算規模は、前年度同期比4.9パーセント増の1,106億6,610万円、公営企業会計は、3,001万円の追加で、補正後の規模は、前年度同期比2.8パーセント減の268億2,152万円。特別会計を合わせた全会計の補正後の予算規模は、1,906億8,923万円、前年度同期比で2.8パーセントの増となりました。

その他の議案のうち、契約案件については、波田支所庁舎の外壁を改修するもの、田川第一雨水幹線を新設するもののほか、市道7553号線の月見橋に仮設橋を設置する工事に関する議決更正1件をお願いするものであります。さらに、市道認定1件を提出しています。

議案以外のものでは、令和6年度の繰越明許費繰越計算書等の繰越4件のほか、松本市が資本金等の2分の1以上を出資している法人の事業計画等6件を報告しています。また、市長の専決処分事項の指定にかかわる報告1件を報告しています。

なお、今会期中には、人事案件として、公平委員会委員の選任について、追加提案する予定です。

以上、本日提案した議案等について説明申し上げました。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

(以上)